令和２年度　南会津町立南郷小学校　学校経営・運営ビジョン

教育基本法
学習指導要領
第6次福島県総合教育計画
南会津教育事務所重点事項

南会津町教育大綱
【理念】
次世代の地域を担う人材の育成
【基本目標】
Ⅰ　自ら学ぶ人を育みます
Ⅱ　町を愛し、協働の心を持った思いやりのある人を育みます
Ⅲ　伝統文化の保存と継承に努め、心豊かな人を育みます

教育目標
進んで学び、互いが育つかかわりのできる南郷っ子の育成

子どもの実態
＜よさ・持ち味＞
・粘り強い
・何事にも意欲的に取り組む
・よく働く
＜さらに伸ばしたい力＞
・自分で考え、行動する
・つまずいたときに上手に対処する
保護者の願い
・思いやりのある子になってほしい
・自分で考え積極的に行動できる子になってほしい
・あいさつや返事がしっかりできる子になってほしい

めざす学校像
○　安心・安全な学校
○　学ぶ喜び、楽しさがある学校
○　地域とともにあり、信頼される学校

めざす子ども像
○　自分で考え、行動する子
○　仲間とともに、みがき合う子
○　学んだことを生かす子

めざす教師像
○　子どもを理解し、温かく支える教師
○　自己研鑽に励み、子どもとともに成長する教師
○　心身ともに健康で、家庭・地域から信頼される教師

【指導の重点（キーワード）】　○「温かい聴き方」・「優しい話し方」（よりよい集団づくり）　○　教科の学びの往還（基礎・基本、活用力の育成）　○　チャレンジ（挑戦する意欲、積極性）

豊かな人間性

◆　*共感する心を持ち、思いやりや親切を実践する姿*

1　望ましい人間関係の構築と自己肯定感の醸成
○　よさを認め褒める指導、QUテストの活用
○　協働心、励まし合い支え合う意識の高揚

2　道徳教育の推進
○「考え、議論する道徳」の充実（「生命の尊重」「善悪の判断」）
○　教科や行事、日常生活と連動させた取組

3　積極的な生徒指導・特別支援教育の推進
○　早期発見・対応のための多面的理解と情報共有、定期・随時の相談・懇談、チーム支援、SC・SSWとの連携
○　いじめの未然防止のための調査、指導、相談

◆　*南郷小のよさ、地域のよさを実感し、より良い校風・地域づくりに貢献する姿*

4　望ましい作法・礼儀の定着
○「南郷小よい子の一日」に基づく規範意識の醸成
明るいあいさつ・元気な返事、望ましい言語環境の整備

5　家庭・地域と連携したふるさと学習の推進
○　主体的実践力・発信力の育成
○　地域資源を活用した体験活動の充実

「PDCA」・・Plan Do Check Action のサイクルで改善を推進する手法
「QU」・・学級の児童・生徒理解を深めるための質問紙調査
「T.T」・・複数教員による指導形態

資質・能力の育成

◆　*確かな学力を身に付け、学びを生かす姿*

1　学ぶ楽しさを実感する「学び合う」授業づくり
○　現職教育の充実による日々の授業改善（「授業スタンダード」「先生の授業をチェックしてください」の活用）
○　よい聞き手・話し手の育成（「聞き方名人」「話し方名人」）
○　各教科等で身に付けた力を主体的に繰り返し活用・発揮する学習活動の充実（生活科・総合的な学習の時間）

2　確かな学力（基礎・基本、活用する力）の向上
○　PDCAサイクルを活かす指導の充実（調査データの分析・活用、活用力育成シート・学期末テストの繰り返しによる徹底活用）
○　学力向上タイムの充実（補充・発展学習、個に応じた指導）

◆　*自分で学習や生活を改善する姿*

3　家庭学習の習慣化
○「家庭学習スタンダード」「家庭学習の手引き」に基づく家庭学習の量・質の改善
○　読書の量・質の改善（読書タイム、ブックリストの活用、読み聞かせ、親子読書の啓蒙）

4　情報機器の適正な利用意識の醸成
○　適切な使用法の指導
○　家庭や地域と連携したメディアコントロールの推進、家庭のルールづくりの啓発

健やかな体

◆　*健康・安全の大切さに気付き、望ましい生活習慣を実践する姿*

1　望ましい生活習慣の定着
○「早寝・早起き・朝ごはん」の家庭への啓蒙
○　健康管理の推進、「けんこうしらべ」

2　危険察知力・回避力の向上
○　安全な登下校・自転車乗りの徹底
○　実態に即した訓練の実施（避難・不審者対応・交通教室）

3　望ましい食習慣の定着・「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」の育成
○　栄養教諭とのT・Tを含む食育指導、「自分手帳」の活用
○　アレルギー情報の共有、家庭への啓蒙

4　保健指導の充実
○　むし歯予防・治療推進、よい歯の教室実施
○　健康課題のある子どもへの個別指導の充実

◆　*体を動かす楽しさを味わい、進んで運動する姿*

5　運動の楽しさを味わわせる授業づくり
○「できた」を実感できる授業の充実（運動身体づくりプログラムの完全実施、学習カードの活用）
○　調査データを活用し、目標を明確にした指導、補助運動の充実

6　継続的な運動機会の確保
○　体力づくりの推進（全校運動の設定、外遊びの奨励、各種大会参加と計画的な練習）
○　外部講師の有効活用（体育アドバイザー等）

◆＝具体的な子ども像　1＝実践の柱　○＝実践事項

「地域とともにあり、信頼される学校」の実践の柱と実践事項

地域とともにある学校づくり

1　地域への発信
○　学校便り・WEBによる情報の発信、学校教育アンケート（年2回）の実施と公表

2　関係機関・団体との連携
○　地域行事への参加、保・小・中の連携（幼児・児童・生徒の交流、情報共有による校種間のスムーズな接続）

信頼される教職員

1　チーム南郷
○　学び合う教師集団の形成と授業力の向上、人事評価を活用した目標の達成

2　不祥事防止に向けた、風通しのよい職場環境づくり
○　服務倫理委員会の充実、危機管理意識の高揚